

平成28年7月12日～17日

# フィリピン レイテ島訪問報告書

認定NPO法人 WITH事務局  
〒504-0913 岐阜県各務原市那加大東町61番地の2  
TEL.058-382-3688  
FAX.058-389-1201

<http://www.with-pj.org>  
E-mail/[info@with-pj.org](mailto:info@with-pj.org)

認定  
NPO法人  
WITH





「W I T H」は、  
アジア諸国において植樹活動、  
物資支援を行う特定非営利活動法人です。

近年、アジアを中心に各国で地滑り・水害など多数の災害が発生し、多くの人々が犠牲となり、地球温暖化も進んでいます。その原因として、後を絶たない森林の違法伐採があげられ、年々悪化しつつあります。

この問題の解決の糸口として、アジア諸国での植樹活動および現地の子供たちに物資を支援し、健全な育成を図ることを目的とし、2007年4月、特定非営利活動法人W I T Hを設立いたしました。

未来の地球環境の保護に貢献すべく、

今後も活動を継続し、拡大していきたいと考えております。

2016年7月12日～17日の6日間、第15回マングローブ植樹事業として、フィリピンへ行ってまいりました。

昨年に続き6年目のレイテ島訪問です。

マングローブ植樹、及び地元の小学校の生徒達に合計約90kgの衣服や文具の支援を行いました。また今回のツアーに関しては大阪コミュニティ財団（東洋ゴムグループ環境保護基金）様より助成金をいただいて事業を行いました。

今後とも「W I T H」の活動にご賛同いただくとともに、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

代表 橋本 佳幸

平成28年7月7日 WITH事務局にて

7月の植樹ツアーの準備のため、参加メンバーによって荷詰めが行われました。

荷物の重量の制限は1人30Kg！衣類やボール、文具などをスーツケースに詰め込みました。



レイテ島まではマニラ空港から飛行機で約1時間程

今回はツアーの荷詰めと同時にフィリピンへ別便にて送る、支援物資を箱詰めしました。

WITHでは定期的に、フィリピン支援のための物資を送っています。

今後も多方面にご協力をお願いし、物資の支援を続けていきます。



## 平成28年7月12日 中部国際空港

フィリピンエアラインのチェックインカウンター前で集合。  
朝早いですが全員時間通り集合しました。

7:30 セントレア集合

チェックイン。今回は川本、伊藤、椿井の3名の参加。  
3名ともツアー経験者、行動も軽快です。

9:45 フィリピンエアライン PR0437便

少し遅れて出発。

1:45(現地時間) マニラ着

無事フィリピンに到着。なんだか日本の方が暑いような？  
本日は風もあり穏やかな気候です。

国内線のカウンターへ、空港内を走るバスを利用して移動しました。

2:15 国内線カウンター

チェックイン。平日なせいか、チェックインの時間が早いせいか利用客もあまりいません。



セントレアに到着



集まるとまるで荷物の山！



チェックイン



朝食のおにぎりと味噌汁



搭乗口



飛行機までバスで移動



バスの中は結構広い



今回の飛行機



飛行機内



マニラ到着



荷物受取



空港出て一服



空港内を走るバス。30分に一本くらい運行



車内。荷物がたっくさん！



滑走路横を走行。快適で早い



国内線チェックイン

国内線の待ち時間を利用して、空港内で昼食。

4:30 PR2987

フライトの遅れ。搭乗口前で待機。その間に携帯電話やデジカメを充電です。

17:37 搭乗口変更

遅れた上に、搭乗口が変更。移動。

18:15 フライト

19:20 タクロバン着

すっかり夜です。現地スタッフと合流。出発。



空港内で昼食



飛行機が遅れて待機中



ようやく搭乗



タクロバン着



タクシーに荷物詰め込みます



「レイテに着いたぞ！」

20:10 夕食

タクロバンの「アンドックス」にて夕食。

三人ともシングを注文。豚の耳を細かく切り、炒めたフィリピンではポピュラーな料理です。

21:47 Baybay市の「プラザホテル」到着  
就寝



アンドックスはフィリピンのファミレス



シングうまい！



ホテル到着



チェックイン



廊下。ヤモリがいっぱい



トイレ・バス。シャワーはほぼ水



二人部屋

平成28年7月13日 7:30 起床

ホテルから徒歩1分程、「ジャリビー」にて朝食。  
日本では馴染みがありませんが、フィリピンでは  
マクドナルドよりポピュラーなハンバーガーチェーン店です。

8:15 ホテル前集合

これからフィリピンの自然の生態系の調査のため無人島へ行きます。  
港から船で15分程で島に到着します。レイテは海がきれい!!  
途中、海面を跳ねるイルカの群れに遭遇しました。

11:20 浜辺にて昼食

現地の焼き鳥のBBQや蟹などフィリピンの料理を堪能しました。  
昼食後、島の森の中へ。近くに人間の皮膚の古い角質を食べる、  
ドクターフィッシュならぬドクターシュリンプ? がいる沼がある  
とのことで見学に。



朝、ホテルにて



ホテル前。昨夜は気付かなかったですが街中です



ジャリビー



ハンバーガーを頂きました



港。こちらから出発します



いざ! 船に乗り込みます



島が見えてきました



島に到着



綺麗な砂浜!



焼き鳥のBBQ！いい香りがしてきました



蟹は日本のワタリガニと同じ感じです。



山に入る一行。大丈夫か？



沼に到着。ここにいるらしいが、



今は干潮らしく水位が低い

水位が低く、数匹しかエビを見つけることができませんでした。  
 満潮時は腰を越えるくらいの水位になるそうです。  
 沼周辺にはマングローブが自生しています。「ブンサブ」という種類だそうです。  
 サイトでの植樹ではまた使用したことがない種類です。  
 機会があれば、この種も植樹に一度試してみたいと思います。  
 帰ろうとするも、ガイドも道に迷い遭難状態！  
 あちこち歩いたあげく、現地の人にヤシの木へ  
 登ってもらい、方向を確認して無事、帰ることができました。



エビ発見、見えるかな？



沼の周辺に生えているマングローブ



ガイドが道に迷った。。

15:15 港へ戻る

17:05 近くの学校へ。

現地の子どもたちと交流。サッカーを楽しみました。  
 結果は3ゲーム実施して0-2、4-0、2-0で2勝1敗でした。  
 子どもたちは明るく元気いっぱい！  
 フィリピンの子もたちはスポーツが大好きですね。



日比混合チームのメンバー



女性のサッカーチームもあります



キックオフ！

最後はみんなで記念撮影。

WITHでは今後も現地の子どもたちとゲームなどで交流を図っていきます。

18:20 近くのレストラン「STONE CITY GRILL」にて夕食。先ほど一緒にゲームをしたサッカーチームのコーチと合流しました。



暗くなるまでゲームをしました



子どもたちと記念撮影



ゲーム終了後も子どもたちと写真を撮って遊びました。カメラに映るのも大好きのようですね

コーチのチームは地域の子どものためのクラブチーム。コーチは子どもたちにもマングローブの植樹を手伝ってもらい、何故、自分たちの住む地域にマングローブが要るのか？など教育の一環として学ばせたい、と話していました。10月も引き続きWITHメンバーとのサッカーの試合を予定していきます。

21:00 ホテルにて就寝

平成28年7月14日 7:30 起床

朝食に近所の「アンドックス」へ向かうがまだオープン前。本日も「ジャリピー」にて朝食となりました。

8:45 BayBay市のCENROへ訪問

3月、新しい植樹サイトの契約をした職員アレックスに表敬訪問に伺いました。10月はWITHにて10名以上で植樹に来るということで、期待していました。

CENROはDENR(天然資源省)の出先機関です。

こちらでは74人ものスタッフが働いているとのこと。



運動の後でお腹もすきました



食事しながら交流



感謝状をいただきました。10月のゲームも楽しみですね





ホテルは海のすぐ近くにありますが



朝食へ



今朝もジャリビー



荷物の詰め込み



CENROの建物。割と新しい



職員のアレックスさん



CENRO前にて



日本からのお土産(お菓子)をプレゼント



10月の植樹に向けた話をしました

9:30 BONTOC ELEMENTARY SCHOOL訪問  
植樹を手伝ってもらったり、チャリティのイベントを実施する  
小学校を訪問しました。  
生徒は216人とこのあたりの学校では大きい学校だそうです。  
教室にお邪魔して子どもたちに挨拶しました。



小学校に訪問



中に売店が。小学生相手の商売

日本語で挨拶して、通訳してもらいました。  
子どもたちは元気いっぱい！  
逆にこちらが元気をもらった感じです。  
続いて先生、校長先生にご挨拶。  
10月よろしくお願ひします、の挨拶と、  
日本からお菓子のお土産を渡しました。



教室に訪問



子どもの前で挨拶



日本語で挨拶しました



子どもたちは本当に元気



先生たちにお菓子のプレゼント



バナナを焼いた“バナナQ”あまっ



豆とバナナを煮込んだ“モンゴ”あまっ



たくさんいただき、お腹いっぱい！



日本のお菓子も気に入っていただけましたようです



授業の休憩時間に買い食い



訪問したので帳簿にサイン



10月もこの小学校にお邪魔します。

### 11:30 昼食

綺麗な川沿いで、自然を眺めながら近所で買ったキッチンなどを食べました。

### 15:30 植樹サイト

今後、活動していく新しい植樹サイトへ訪問しました。現地の村の方々がナサリー（苗床）を作っていました。WITHのメンバーも手伝いました。現地の漁師や大工が作っているだけあって頑丈です。今後、活動の中心になる大事な場所です。



サイトは時間的に、潮がこれから満ち始めるころ。  
DENRの職員とサイトの中を進み視察しました。  
植樹できる範囲の確認。サイトの潮・波の流れ。  
これから10月に向け、どのように植えていくか  
計画していきます。



足場は泥地。植樹しやすそうですが、その分、  
波には弱そうです。  
また貝も多く、苗の芽を食べます。  
芽を食べられると苗は成長せず、死んでしまいます。

17:30 日本から持っていった荷物を、現地スタッフの自宅に一時的に持ち込み。後日小学校などで配ります。

19:15 夕食

レイテでのイベントがある程度終了し、スタッフ同士で意見交換。植樹や、サッカー交流、小学校での活動など10月に向け話すことはつきません。楽しみです。

21:00 就寝

平成28年7月15日 9:30 起床

本日はマニラへの移動のため、タクロバンへ。市内を散策しました。

12:25 昼食

16:15 タクロバン空港 チェックイン

以前、一時間はやくフライトし乗れなかったことがあったので早めの到着です。

18:25 フィリピンエアライン PR2988便

マニラへ出発。

19:20 マニラ到着

20:45 Manila Manorホテルチェックイン

しかし、予約が取れていない！ということで急遽別ホテルを探すことに。(後日わかりましたが、旅行会社のミスで予約名が違っていただけでした)

21:30 Vホテルチェックイン

タクシーの運転手にホテルを探してもらいました！

無事ホテルチェックイン。

22:30 就寝



出発。名残惜しい



昼食



タクロバン空港着



泊まれなかったホテル



泊まったホテル



ホテル前是人通りも多くにぎやか



ホテルフロント



浴槽はなく、お湯は微妙



部屋の中



部屋の中



ラーメン屋で夕食。何故かお好み焼きが、

平成28年7月16日 8:00 起床

本日はパヤタス市の廃棄物処分場の視察にいきます。

<<パヤタス市廃棄物処分場とは??>>

パヤタス・ダンプサイトが廃棄物処分場として政府から認可されたのは1973年と言われているが、すでに1960年代から廃棄物の集積が始まっていた。しかし、その名が国際的に知られるようになったのは1990年代になってからである。

かつてメトロマニラ港湾部のトンド地区にスモキー・マウンテン (Smoky Mountain) と呼ばれる最終処分場が存在した。この処分場はフィリピンの貧困の象徴として各国の批判を浴びたため、1995年11月、フィデル・ラモス大統領によって閉鎖された。

その際、スモキー・マウンテン周辺で廃棄物を拾って生活していた人々(スカベンジャー(scavenger)と呼ばれる)の多くがパヤタス・ダンプサイト周辺に移住してきた。彼らには新たな住居が用意されてはいたものの、その高額な賃料が払えなかったのである。

かくしてパヤタス・ダンプサイトには1日当たり6334トン(1995年)にのぼる膨大な廃棄物が分別無しに集められ、巨大なごみの山が作られた。そしてその周囲にはスカベンジャー達のバラック、さらには彼らから有価物を買取る業者のバラックまでが建ち並び、皮肉にも本家のスモキー・マウンテンに勝るとも劣らないスラムが形成されることとなった。有害な化学物質や腐敗したごみ山から発生するメタンガスにより住民の健康被害も深刻であった。専門家はごみ山の崩壊の可能性を指摘していたが、処分場が生み出す利益の巨大さとそれによる利権構造ゆえに放置され続けたのである。

そしてついに2000年7月10日午前8時頃、高さ約30m、幅約100mにわたってごみの山が崩落し、約500軒のバラックが下敷きとなった。救出作業は困難を極め、7月22日に捜索は打ち切られた。公式に確認された死者は234名であるが、実際の犠牲者は400名とも800名とも言われる。もともとごみ山の斜面が急すぎたうえ、台風の雨が一週間以上も降りつづいたことが原因であると考えられている。

この大惨事を受けてパヤタス・ダンプサイトは事故から4日後に閉鎖されたが、メトロマニラの廃棄物処分場の処理能力が危機的な状況になったため2001年半ばに再開され、現在に至っている。

ウイキペディアより



朝、ガイドの人と合流



外に出るのは危険とのことで車内から撮影



通り沿いには雑然と家が並ぶ



ゴミ処分場を行き来するトラックが多く走る



ゴミを積んだトラック



処分場へ行く途中もゴミの堆積がいくつか。



ジャンクショップもかなり多い



ジャンクショップの規模もまちまち



所々にゴミを積んだトラックが停車



街は通り沿いにもゴミが多く衛生的にはよくない



ゴミを運ぶ若者



基本ゴミは分別されていない。ゴミの山から分別していく



ペットボトル専門のジャンクショップ



ゴミが見える崖や丘。堆積してできたものだ

ゴミ処分場へ行く途中、多くのゴミを積んだトラックが行きかう。メインの通り沿いにはたくさんのジャンクショップが並ぶ。車のパーツ、タイヤ、ペットボトルなどなど。分別したゴミを持ち込む人も多く見える。職が無い子ども～若者がゴミを売ってお金にしている。当然衛生的にも劣悪で、子どもの育成にも影響が出る、という悪循環。これから先も政府による改善は当面なさそうです。

ゴミ処分場入口へ到着。撮影している間も多くのトラックが出入りしている。処分場内への見学をガイドに交渉していたが、やはり中へ入る許可は下りなかった。残念ですが見学はここまでです。



ゴミ処分場に到着



出入りするトラック



帰りにも多くのゴミを抱える家に遭遇。持ち込んだゴミを分別して、それぞれのジャンクショップに持ち込みます。



帰り道、古いゴミの山が道脇から見る事が出来ました。  
以前大惨事があった山です。

こちらも今では立ち入り禁止となっています。

今日、見学したあたりでは、以前外国人が写真を撮っていて  
警察に逮捕されたこともあるエリアだそうです。

フィリピン側としても見せたくない、部分なのかも  
しれません。

13:10 グローバルシティ

ショッピングモール内の日本食の店で昼食。

外人の方も多く見られる綺麗な街で「ニューマカティ」と  
呼ばれる人気のエリアだそうです。

先ほどのバヤタスから1時間かからないくらいの場所ですが  
まったく異なる街並み。この貧富の差が激しいのも  
フィリピンの特徴です。



15:00 ホテル着

19:00 夕食

明日はいよいよ日本へ帰国。

今回の旅のことも、10月の第2段のツアーの  
活動について話し合いました。

21:00 就寝





平成28年7月17日 マニラ

いよいよ日本へ出発です！

11:00 ホテル出発

12:00 マニラ空港着 チェックイン

14:00 マニラ発 (PR0438)

少し遅れてのフライト。今回は

ほとんど時間通りに飛行機が飛びませんでした。

19:05 セントレア着

みなさん大変お疲れ様でした！

セントレアにて解散。



タクシーがきました。いよいよ出発



近道、ということでモールオブアジア横を通る



空港到着



空港にはいるだけで凄い行列でした。



名古屋到着



お疲れ様でした！